

平成24年度 佐久市まちづくり活動支援金事業 交付決定一覧

〈 佐久っと支援金 〉

(単位：千円)

新規 継続	事業名(団体名)	事業概要	支援対象 事業費	支援 要望額	経費区分
継続	いきいき中央センター 「はらっぱ」 (佐久市中央商興会)	商活動を中心とした人の交流を行い、中央区の活性化を図るため、賃貸した空き施設を利用し、地場産の青果や、衣料、食料品等物品の販売を行う。 24年度は、ボランティアも参加して高齢者等の買物弱者を手助けする「買物助け隊」の活動に力を入れ活動していく。 さらに、高齢者等の生活弱者への支援として、庭の手入れ・掃除等、要望に応じて試行実施し、『はらっぱ』を軸に地域の支援の輪を広げ、住民がいきいきと生活できる社会の構築の一助となりたい。	1,553	373	ソフト ハード
新規	住民、事業者が響き合う 健康で元気な魅力ある 商店街づくり (うすだ美図)	佐久病院を核としたまちづくりを進めてきた当地区であるが、人の往来の減少に合わせ、地域コミュニティ活力の低下が危惧されている。ここに暮らす住民と地域の様々な団体とがふれあい、連携し、交流する拠点を設置し、共に響き合う元気な街づくりを目指す。 地元の臼田高校生は、街づくりの良き担い手である。連携し活動することで一緒に臼田地域を考えることができる。 事業者、高校、佐久病院と地元住民の顔の見える交流を深め、世代と分野を超えた地域コミュニティ活力のアップを図りたい。	2,862	986	ソフト ハード
新規	ほたるの里志賀復活事業 (ほたるの里志賀 実行委員会)	地域住民が河川清掃など環境保全に努めてきた結果、志賀地区では自然発生するほたるが増えつつある。 昔のように群舞する「ほたるの里」として復活を目指し、地域に定着させることでイメージアップを図る。 夏にはほたる祭りを開催し、写真や俳句の会等、タイアップできる各種団体と連携することにより、他分野との交流を活性化させるなど、魅力ある地域づくりに貢献したい。	1,686	724	ソフト ハード
合 計			1,553	373	

〈 駒の里過疎対策プロジェクト支援金 〉

(単位：千円)

新規 継続	事業名(団体名)	事業概要	支援対象 事業費	支援 要望額	経費区分
継続	天来書学普及事業 (特定非営利活動法人 未来工房もちづき)	「現代書道の父」と呼ばれる比田井天来生誕の地に、平成18年より天来自然公園を整備、これまで石碑や筆塚を建立してきた。最近では、全国の書家、研究者、書愛好家が訪れており、来園者も増加してきている。 高齢者・障害者等の来訪を容易にするため、23年度には、公園内を周遊できる遊歩道を整備した。そして今回は、公園を訪れるための案内標識及び地図付き案内板を設置するとともに、車が入れる道を整備し、来園者にとってより親切な公園となることを目指す。 佐久市から、書鑑賞の楽しさを発信し、全国に誇れる「書の街づくり」を進めたい。	1,282	641	ハード
継続	合唱組曲「望月の駒」の 伝承と演奏活動 (望月の駒を歌う会)	佐久地方の民話「望月の駒」を題材にした合唱組曲「望月の駒」を歌い継ぎ、多くの人に望月や佐久地域の文化と伝統を伝え広げていく。 24年度は隔年の定期演奏会が無いため、学校や福祉施設等での演奏を重点的に実施する。合唱組曲「望月の駒」の演奏を聴いてもらうことによって、地域の歴史・文化に興味を抱き、地元を大切にしたい気持ちが育まれる。 様々な施設で演奏活動を行い仲間を増やしなが、合唱を通じた人とひととの交流の場を広げていきたい。	833	416	ソフト
新規	望月城跡整備事業 (特定非営利活動法人 望月まちづくり研究 会)	本城跡は、望月地域にとって重要な資源であり、歴史的な存在価値を次世代に伝承していく必要がある。 城跡を訪れる人に親しみと興味を持ってもらうため、地域住民を中心にPR・整備活動を行ってきた。 24年度は、悪路改修と誘導の明確化の目的で景観に配慮した遊歩道整備を進め、また、城跡の案内板を設置し、来訪者にやさしい整備を行う。 この活動を通じ、ボランティア活動の活性化や意義を伝えながら、地域への愛着感を育み、まちづくり意識の高揚を図りたい。	230	115	ソフト ハード
合 計			2,345	1,172	